

☆ 炭焼き体験を行いました (2月14日) ☆

せら夢公園サポーターズクラブでは、自然観察園の里山を活かして、炭焼き体験を行いました。



ドラム缶炭焼き窯の構造とつくり方を学びました。



たき火を囲みながら待つのも楽しい時間です。



炭を持ち帰るのに、いなワラで縄をなっていました。



子どもたちはアカガエルの卵塊を見つけて遊びました。



完成した炭のようす



広島県世羅町のボランティア体験イベントを開いた。イアクループ「せら夢公園」地域の里山の保全や、資源サポーターズクラブは14日、活用を考えよう企画した。せら夢公園自然観察園も、約60人の参加者は炭でドラム缶を使った炭焼、材の詰め込みや火付け、炭

広島県 世羅町 ボランティアが催し



ドラム缶で炭焼きに挑戦する参加者ら

炭焼きで里山保全

の取り出しなどを体験し、菓子缶を利用した飾り炭作りも行った。中国地方は近世までたたら製鉄の盛んな地域で、その原料として木炭が周囲の里山から供給されてきた。同町でも古来の製鉄遺跡である「ナクログ遺跡」が見つかっており、里山の自然を持続的に利用した炭焼きの歴史は古い。同クラブはこれまで、自然観察会や里山整備などを行ってきたが、松枯れ病の松など伐倒木の活用を模索していた。今回、県の助成を受けて、2基のドラム缶窯を設置した。今後、炭焼きなど里山体験活動を継続して行っていく予定。参加者は「自分のところでも炭焼きに挑戦してみたい。今後も里山を楽しく利用できるように話したい」と話していた。(広島県 世羅町)